

平成30年度予算見積調書

課室名：農産物安全課
 担当名：有機・安全生産担当
 内線：4049

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B25	埼玉エコ農業推進事業		一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費	
事業期間	平成24年度～	根拠法令	有機農業の推進に関する法律 第4条 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律 第9条		宣言項目	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立		
1 事業の概要		5 事業説明						
環境保全に対する意識が高まる中、農薬・化学肥料の削減や、地球温暖化等に効果の高い「エコ」農業に取り組む産地を育成して農業による環境負荷軽減を図り、併せて「エコ農業」で生産された「エコ」農産物の需要拡大や高付加価値化を図る。 (1) エコ農業の推進 1,450千円 (2) エコ農業への直接支援 18,700千円 (3) 有機農業の拡大 1,328千円		(1) 事業内容 農薬・化学肥料の削減や地球温暖化防止等に効果の高いエコ農業に取り組む産地を育成し、農業による環境負荷の軽減を図るとともに、消費者等の環境保全型農業に対する理解を増進し、エコ農業で生産された農産物の需要拡大や高付加価値化を図る。 ア エコ農業の推進 1,450千円 (ア) 有機農業などのエコ農業の技術開発や技術導入推進、講習会の開催等 (イ) 環境負荷低減モデル産地の育成 (ウ) エコ農業推進のための取組、消費者・実需者に対するPR活動等 イ エコ農業への直接支援 18,700千円 (イ) 環境保全型農業に取り組む生産者への支援 (ウ) 環境保全型農業を推進するための事務費 ウ 有機農業の拡大 1,328千円 (ウ) 有機農業者の増加 (エ) 有機農産物の販路拡大 (2) 事業計画 ア エコ農業の推進 地球温暖化防止等に効果の高い農業技術の導入推進や、講習会等の開催 エコ農業推進のための取組及び消費者等へのエコ農業のPR イ エコ農業への直接支援 地球温暖化防止等に効果の高い生産技術や有機農業等に取り組む生産者に対する直接支援 ウ 有機農業の拡大 有機農業推進のための研修会、情報交換会の開催 認証取得支援、流通業者とのマッチング (3) 事業効果 農業による環境負荷が軽減されるとともに、環境保全型農業に取り組む生産者の経営が強化される。 平成29年度 予算：22,350千円						
2 事業主体及び負担区分								
(県 10/10) ア (ア), (ウ)、ウ (国 1/2)・事業主体 1/2 ア (イ) (国 1/2)・(県 1/4)・市 1/4 イ (ア) (国 10/10) イ (イ)								
3 地方財政措置の状況								
普通交付税 (単位費用) (区分) 農業行政費 (細目) 農業経営振興費 (細節) 経営振興費 (積算内容) 環境保全型農業直接支援対策								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.6人=5,700千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
決定額	21,478	国庫支出金					8,528	△872
前年額	22,350						9,200	